

カテゴリ5

5 職員と組織の能力向上

サブカテゴリ1

事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる

評価項目1

事業所にとって必要な人材構成にしている

評点( A )

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

【A+の取り組み】 あり なし

評価項目2

職員の質の向上に取り組んでいる

評点( B )

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの職務能力に応じた、個人別の育成(研修)計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 個人別の育成(研修)計画を踏まえ、OJTや研修を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員が研修に参加しやすいように、勤務日程を調整している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	<input type="radio"/> 非該当

【A+の取り組み】 あり なし

サブカテゴリー2

職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる

評価項目1

職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

評価項目2

職員のやる気向上に取り組んでいる

評点( A )

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材マネジメントを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	○非該当

【A+の取り組み】 ○あり ●なし

カテゴリー5の講評

園に必要な人材構成に向けて、人員の確保・配置に努めています

常勤職員は法人で採用し、本園で必要とする人材と他園とのバランスを考慮しながら、配置をしています。また、園内のクラス担任については、毎年度末、職員から希望をとり、経験や能力、バランスを考慮して園長が検討し、法人で決定されます。なお、本園は、区で運営していた当時から、持ち上がりの担任制を基本としています。一方、職員自己評価においては、人材構成に関する評価は、他の項目と比較して最も低いことから、改善が求められます。

法人全体で研修環境の充実に取り組んでいます

職員研修については、職務に応じて、法人内研修、園内研修を行っている他、外部の研修の受講に際しては、シフトを調整し対応しています。また、研修成果は、報告書を作成するとともに、職員会議の場で報告を行い、職員同士の情報共有を図っています。一方、職員自己評価では、職員の質の向上に対する評価は、他の項目と比べて低いことから、さらなる充実が期待されます。

カテゴリ7		
7 情報の保護・共有		
サブカテゴリ1		
情報の保護・共有に取り組んでいる		
評価項目1 事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・保管している	○非該当
●あり ○なし	3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		
評価項目2 個人情報は、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している <span style="float: right;">評点( A )</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 個人情報の保護に関する規定を明示している	○非該当
●あり ○なし	3. 開示請求に対する対応方法を明示している	○非該当
●あり ○なし	4. 個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている	○非該当
【A+の取り組み】 <span style="float: right;">○あり ●なし</span>		

#### カテゴリー7の講評

##### 園が蓄積している情報を適切に保護・共有しています

園で管理する文書・記録は、フォルダを用いて事務所のファイリングキャビネットに管理されています。児童票や保育日誌等の個人情報・機密情報を含む文書については、施錠できるキャビネットに保管されています。また、電子データの場合も、パソコンにパスワードを設定し、管理を徹底しています。

##### 個人情報の取り扱いについては、規則・要綱で明確にしています

個人情報については、園各種規則及び要綱で明確にしています。また、実習生やボランティアに対しては、個人情報保護等の留意事項を伝えています。個人情報の取り扱いについては、保管場所や掲示の仕方、写真データの保管方法などに細心の注意を払って対応しています。

##### 運用要綱にもとづき、園独自のホームページを公開しています

園独自のホームページの公開については、公開目的を明確にするとともに、公開する情報に対しての基本的な考えとして、「公開しない情報」「保護者の了解を得る必要がある情報」「掲載に際しての留意点」を明示するなど、個人情報に対する十分な配慮がなされています。

カテゴリ-8

8 カテゴリ1～7に関する活動成果

サブカテゴリ-1

前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている

- ・カテゴリ-1:「リーダーシップと意思決定」
- ・カテゴリ-2:「経営における社会的責任」
- ・カテゴリ-4:「計画の策定と着実な実行」

A+    A    B    C

改善の成果

行事や日常保育の充実に向けて、計画的に取り組んでいます

本年度においては、世代間交流や食育の推進など、積極的に取り組んでいます。世代間交流については、従来は地域の人たちが来園する方式でしたが、今年度からは高齢者施設等に訪問する様になりました。また、食育については、米飯中心のメニューの提供や魚の解体を見学するなどの活動もはじめています。これらの取り組みに対しては、保護者からの感謝の声もきかれます。また、昨年度から取り組んでいる体育指導の積み重ねにより、落ち着いた保育に取り組めるようになっていきます。毎年の計画的な取り組みが、少しずつ成果になっていることがうかがえます。

サブカテゴリ-2

前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている

- ・カテゴリ-5:「職員と組織の能力向上」

A+    A    B    C

改善の成果

研修等により、質の向上に取り組んでいます

一昨年度までは、全クラスが複数担任制でしたが、平成19年度からは、4、5歳児クラスを1人担任制とする新たな取り組みを始めました。当初は、戸惑う場面も見られましたが、1年が経過し、1人担任制の効果も現れています。こうした職員の能力をいかに取り組みの他、職員の資質の向上を図るために、各種研修や参考図書の紹介を行うなど、日常の取り組みが重ねられています。

サブカテゴリ-3

前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている

- ・カテゴリ-6:「サービス提供のプロセス」
- ・カテゴリ-7:「情報の保護・共有」

A+    A    B    C

改善の成果

「食」に関する取り組みの強化を行っています

食育については、栄養士が各クラスを巡回し、イラストを使って食材の解説を日常行っておりますが、本年度からは、米飯中心の献立など園独自の取り組みを行ったほか、魚の解体を見学するなど、子どもたちがより食に関心をもちやすくなる様、取り組みました。

サブカテゴリ4

事業所の財政等において向上している

評価項目1

財政状態や収支バランスの改善へ向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている

A+  A  B  C

改善の成果

収支のバランスの向上が図られています

定員の変更や職員配置、職員の異動等を通じて、収支のバランスが向上しています。

サブカテゴリ5

前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリで評価される部分において改善傾向を示している

・カテゴリ3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」

A+  A  B  C

改善の成果

保護者の意向を積極的に把握し、改善に努めています

おたのしみ会の公開をはじめとした保育参観や個人面談等、意見箱、行事のアンケート等を通じて、積極的に保護者の意見を聞く体制を整えています。しかしながら、利用者調査の評価からは、改善の余地が残されていることから、さらなる改善が期待されます。